

令和六年五月十九日 係就任式

神 示

人間は 多くの人々と 互いに声掛け 関わることで 品を高める
なれど 出会いが広く持てず 眞実の愛に生きられぬ人々が多い
人々との縁を深められず 自ら「実体」を下げる因が ここにある
係に申す

係は 神が 出会いを広げ 深めるために 地域に託す立場
職員と 心一つになって 信者の仕合せ願って動くなれば

自然と信者の心に重なり 縁を深めて

「眞実の愛」が心に 強く芽吹く

眞実の愛心で 信者に声掛け 関わるほどに

「実体」は高まり 「希望の光」が通る

係の立場が 信者の人生に 「光」が通る心の手本となるほど

信者も 係も ますます出会いを深めて

「運命」に守られ 導かれる人生が歩める

なぜ 家族で「教え」を学び 「眞理」で関わる家庭が

信者の人生を守り 救うのか

その眞実を悟ることから 係の存在・立場が生かされてゆく

——「眞理」のある家庭で 人間の「運命」は磨かれ

「運命」が 人間の人生を守り 開運へと導く——

この一言に 救われる眞理がある